



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

大阪高槻ラウンド報告

平成29年10月21日(土)高槻市役所総合センターにて「高槻ラウンド」を開催しました。

大阪での開催は、今回で2回目です。佐藤先生、高橋調査官をはじめ、府外から7名、府内から25名とたくさんの方々にご参加いただきました。

また、今回は中学校の英語科・理科の先生の参加もあり、様々な角度から体育・保健体育について考えることができたと思います。

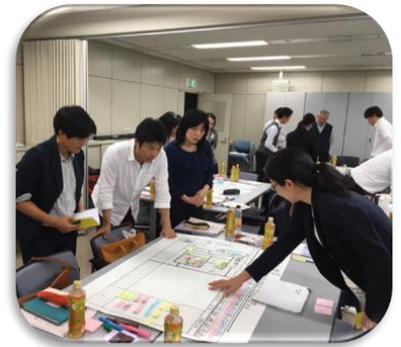
お話をいただきました佐藤先生、高橋調査官、ご参加いただきました先生方、ありがとうございました。

1. 情報提供「新しい学習指導要領の考え方」

高橋調査官からは、新しい学習指導要領について説明をいただきました。

「何ができるようになるか」という資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で整理されたこと、体育・保健体育の見方・考え方、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、カリキュラム・マネジメントの視点などなど…、学習指導要領にはいろいろな思いが込められていることが分かりました。

体育・保健体育の授業の中で技能はもちろん、知識も態度も考える力も身についたと子どもたち自身が自覚できるような授業をこれからも考えていきたいですね。



2. グループワーク



「授業づくりに関するお悩み相談」では、グループで意見交換をしました。その中では、思考力・判断力を育成するための授業内容や評価方法、ワークシートの活用についての悩みが多かったようです。どの先生方も、目の前の子どものために、日々悩みながら授業をつくられていることを感じる事ができた時間でした。

3. 単元構造図ワークショップ



小・中・高のグループに分かれて、新しい学習指導要領から単元構造図を作成しました。学習過程の検討に当たって、単元の中心となるところを最後に、まずは学習指導要領の内容からゴールイメージを持つこと、その後にオリエンテーションや動き作り、内容をどうしていくのかを考えていきました。

先生方からは、「つきたい力をしっかりと考えることができることと評価をいつどのように行うのが明確になった」、「これからの実践にすぐに生かしていきたい」、「たくさんの発見があった。自身の教科でも生かせそう」というご意見をいただきました。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を実践する上で、貴重なワークショップになりました。

4. まとめ

ワークショップでの先生方からの意見を受け、佐藤先生からは「系統主義的学習」と「経験主義的学習」についてのお話のあと、集団行動を例に挙げて分かりやすく教えていただきました。

子どもたちには、「何のためにこの学習するのか」ということを伝えることが大事で、子どもたちもやる意味が分かれば主体的に取り組もうとする姿が表れる…など、授業をつくるうえでのヒントをたくさんいただきました。

